令和８年度第１回あま市総合教育会議　議事要旨

日時：令和８年６月２５日（木）
午後３時から午後４時まで
場所：あま市役所　２階　Ｅ会議室

１　出席者等

あま市	１名（八島市長）
教育委員会	６名（伊藤教育長、溝口教育長職務代理者、小笠原委員 吉川委員、近藤委員、三浦委員）
事務局	１６名
傍聴者	０名

▼ 司会進行

皆様こんにちは。定刻となりましたので、ただいまからあま市総合教育会議を開催いたします。私は本日の司会進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。はじめに、この会議は公開となっておりますので、よろしくお願いいたします。では着座にて失礼いたします。

次に資料等の確認をさせていただきます。本日の次第の他に出席者名簿、配席図、そして資料でございますが、右上の資料番号丸の１熱中症対策について、資料②学校支援ボランティアを含むボランティア登録の統合に向けた検討についてでございます。不足等はございませんでしょうか。

本日の会議は、卓上マイクを使用しております。発言される際は、お手元の銀色のボタンを押してスイッチを入れていただき、赤いランプが点灯していることを確認してからご発言いただきますようお願いいたします。なお、本日の閉会は午後４時30分ごろを予定しておりますので、円滑な議事の進行にご協力をお願いいたします。

それでは次第の２挨拶といたしまして、八島市長より挨拶を申し上げます。

▼ 市長

皆さんこんにちは。本日はご多用の中、あま市総合教育会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また日頃より、本市の教育行政に深いご理解とご協力を賜っていますことを厚く御礼申し上げます。

皆様ご存じの通り、昨今教育を取り巻く現場の事情はより加速化して、より複雑化していることと思います。この状況にあたっては行政サイド、そして教育委員会の皆様と手を取り合って、これをソフト面で解決するのか、ハードの面で解決するのか、それとも合せて解決するのか。また、この分野についてはまた違う方法をしなければいけないのか、といったようなより複雑で高度な判断が今求められている時代ではないかと深く感じております。ですので、皆様にも知見をいただきながら、しっかりと次の１歩を踏み出していくということを、本会議でも今後もお願いしたいと強く思っております。

この議論が着実に政策へ反映されることが重要と考えておりますことから、本日も委員の皆様からの建設的なご意見をよりよい教育施策へつなげていく、実りある会議となりますことを期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。

▼ 司会進行

では、次第の 3 議題に移ります。議事進行は、あま市総合教育会議運営要領第 2 条の第 4 項の規定により市長は議長となりますが、同条第 6 項の規定によりまして、私がこのまま進行役を務めさせていただきます。では、次第に従って進めて参りますのでよろしくお願いいたします。

まず①熱中症対策についてでございます。教育委員会事務局より提案理由等についてご説明をお願いいたします。

▼ 事務局（教育委員会）

資料①に基づき説明

▼ 司会進行

はい、ありがとうございました。①熱中症対策についての説明は以上となります。それでは、皆様のご意見をちょうだいしたいと思います。ご意見のある方は挙手にてお願いをいたします。八島市長、よろしくお願いします。

▼ 市長

近年の酷暑というのは、まさに感じる通りでございますけれども、この熱中症対策につきましては、保護者の皆様からお寄せいただく切実なご不安の声、また現場の苦慮、これに対して大変な危機感を今持ってるところでございます。

子供たちの健やかな健康と安全な教育環境を守るために、対策を練って確実に解決しなければならない重要な課題です。冷凍冷蔵庫の導入に関しましては、私も企業からの温かい協賛による寄付などを活用して、全小学校への設置を訴えて参りました。今回、実効性のある施策として形にしていただいたことに深く敬意を表する次第でございます。

小・中学校の体育館空調整備の設置方針についてですけれども、これは児童生徒の安全確保だけでなく、体育館が避難所になることを考えると、防災インフラとしての側面も持っております。しかし、機器導入や設備工事には膨大な予算がかかります。設置後の維持管理費も重くのしかかることとなります。そのため全国でも導入が進んでいないのが現状となります。

財政状況を見据えて、特別教室への設置を完了させた後、市内全 17 小中学校の体育館に一気に空調設備を設置することは難しい状況となりますので、効果的な設置方法を徹底的に調査し、しっかりと費用対効果を実証した上で、着実に進めていきたいと考えております。

▼ 司会進行

では、八島市長からのご発言ございましたが、何かご意見等はございますか。では、委員お願いいたします。

▼ 委員（教育委員会）

市長さんありがとうございます。最初冒頭で市長さんは、ソフトハード両方おっしゃられたんですけども、個人的感覚としては両方遅れています。人は足りないし、施設も老朽化が著しいと思っ

ています。今回のこの熱中症対策も、これまで教育委員会内部でも十分議論してきていますし、総合教育会議の方でも話をさせていただいていますが、教育委員会にはご承知の通り議案提案権がありません。予算が必要ということで、どうしても知事や市長部局さん、市長さんはじめ、財政当局のご理解をいただかないと進められません。実情だけをまず申し上げたいと思いますが、今説明があった内容については速やかに進めていただきたいと思っております。

特にその甚目寺東小学校の遠距離通学は、過去からの課題で、学校の再編等の提示をさしていただいたんですが、なかなかご理解がいただけず、止まっているわけですが、昨年は学校運営協議会の方からの熱中症対策として、要望もいただいております。教育委員会としても速やかに対応していく必要があるというふうに思っております。

あと、甚目寺東小学校の森地区の学校区の再編、これについても正則小学校に変更するっていうのが本当は望ましいわけですが、なかなか過去の経緯等から難しいと思われますので、当面は事務局さんが考えてみえますように⑤指定学校の変更の条件 1 項目追加、こうした形で地域や子供本人とか保護者の方のご希望に沿えるようなことを来年度からでも進めていきたい。

熱中症ですので事故があってからでは遅い。他の市町では登下校中の事故っていうのがありますので、これだったら経費は掛からないかもしれませんので、教育委員会内部の方で検討して、可能であれば対応できると思いますので、すぐにでも対応はさせていただきたいと思っております。

それと冷房についてですが、体育館冷房については先ほど市長さんからの特別教室の完了後というお話がありましたけども、特別教室の事務局の方と話をしていても、今の社会情勢からまだ二、三年はかかりますとのことで、その後の検討では県立学校もそうですし、近隣市町はどんどん対応しておるのに少し遅いんじゃないですか。できれば極端な話、並行してでも 1 つずつの学校を片付けながら特別教室の冷房を図っていると聞いたので、それだともう全く対応をいただけない学校もどんどん増えていくだろうということで、美術室とか図工室、体育館冷房も並行して動いていただきたいです。

保護者や住民の方から、他の市町では導入するのにあま市はどうしてなのと言われても、その教育現場にいる人は議案の提案権がありません。これからの日本を支えていく子供たちの健やかな成長、それを図っていくためには、その基礎、基盤となる先生方、人や施設とか、もう少し考えていただきたいです。できるだけ速やかな対応ができるように、意見として言わせていただきます。

▼ 司会進行

はい、ありがとうございました。その他にご意見ある方は挙手にてお願いをいたします。

▼ 委員（教育委員会）

体育館の空調のことで関連ですけども、特別教室に順次エアコンを入れているということですが、体育館は広いので、予算的に体育館に入れると、どのくらいのお金がかかって、特別教室の方はいくらぐらいかかるのかということも知りたいです。それから現場の学校の校長先生初め、先生方はどういうふうに考えてみえるのか。

今、特別教室の方に入れていただいていますけど、体育館にまず入れるということを望んでいるのか、その辺の現場の声を聞くということも大事だと思いますので聞きたいです。

▼　事務局（教育委員会）

特別教室と体育館の金額ですけれども、特別教室の概算の金額になりますが、小学校では1校当たり約3000万円。中学校につきましては教室数が多いことから、1校当たり約6000万円かかる見込みをしております。それから体育館の方の空調ですが、こちらも概算の金額になりますが、1校当たり約1億円という見込みをしております。

▼　事務局（教育委員会）

特別教室は、学校によって設置する部屋の種類が違うことや、使用頻度も違いますので、その学校の使用頻度の多いところにつけていただくとありがたいという声はあります。体育館につきましては朝礼、あるいは体育の授業でも使いますので、使用頻度は特別教室より非常に高い現状があるのではないか私も考えております。

▼　司会進行

はい、委員よろしいでしょうか。

▼　委員（教育委員会）

特別教室は、授業で使う時間は教室によって違いがあると思いますし、そのことも見込んで設置をしていくことも必要だと思いますし、あまり使わないところにエアコンをつけても、ほとんど使わないということはもったいないと思いますし、それから体育館というのは体育の授業、それから終業式、式学年集会だとか、多くの生徒・児童が集まって行事を行うということで、頻度が高いということも言われましたけども、そういう面を考えて、値段的にはやはり体育館冷房はすごい掛るわけですが、設置をしていただけたらと思います。

▼　司会進行

はい、ありがとうございました。他にご意見がありましたら挙手にてお願いいたします。では、委員お願いいたします。

▼　委員（教育委員会）

まず冷凍庫の設置についてですが、なかなか財政的に難しいというお話ですが、それを実現していただいて大変ありがたいと思います。以前、今のクールネックリングは、性能のいいやつだと、2時間から3時間もつというようなことも聞いたことありますので、冷凍庫があればそれを朝冷やして下校時につければだいぶもつことから、ありがたいと思いますので、この冷凍庫の設置の方をよろしくお願いします。

ただ気になるのは、電気工事がいつ頃になりそうなのか、時間はかかると思うんですが、できるだけ早い設置をお願いできたらと思います。

それから指定校区の変更ですが、学区を再編成するのはすぐには難しいと思いますが、この資料の⑤に書かれている条件に1項目追加、これなら可能であるし、保護者、児童の意向もくみ取りながらできると思いますので、ぜひこちらについても前向きな実施をお願いできたらと思います。

それからエアコンの設置ですが、先ほどの説明で小学校1校当たり3000万、中学校1校当たり6000万、体育館は1億円ということですが、この工事の順番を上手に組み合わせることで、何とか解決できないか。学校ごとで実施するのではなく、まだ設置されていない学校の現場の声を聞い

てどこの部屋をまず設置するのか、1年目は、2年目はどこの部屋を設置するのか。要望を聞きながら、並行して体育館に順次設置していただけたらと思いますが、設置する体育館については、甚目寺地区、美和地区、七宝地区と、1校ずつと思いますが中学校区ごとに、早めの設置をお願いしたいです。

小学校は暑くない時間に体育の授業を実施することができますが、中学校は担当教師と時間が決まっていますのでなかなか難しいと思います。そういうことを考えると、授業や部活においても、エアコンがあることで活動はしやすいと思います。

最初に申し上げたように、特別教室の工事を上手に現場の声を聞きながら体育館の工事と組み合わせていただいて、実施していただけたらありがたいと思います。

▼ 司会進行

はい、ありがとうございました。他にご意見のある方は挙手にてお願いをいたします。よろしいでしょうか。それでは、委員お願いいたします。

▼ 委員（教育委員会）

先ほどの質問の続きになるんですが、特別教室はあと何校できてないって言ってましたか。

▼ 事務局（教育委員会）

特別教室ですが、今年度1校設置をする予定をしておりまして、その1校が終了しましたら残りが9校になります。

▼ 委員（教育委員会）

今年度1校ということは予算が3000万ぐらいということですか。財政状況から無理は言えないとは思いますけど。

▼ 事務局（教育委員会）

今年度の予算約3000万円となります。

▼ 委員（教育委員会）

3000万ずつでは9校あると、特別教室に設置するだけでも10何年かかるかもしれませんので、教育委員会で努力できる部分はないのかもしれませんが、積極的な検討をぜひお願いします。

▼ 司会進行

はい、八島市長お願いします。

▼ 市長

ありがとうございます。様々な工夫の仕方についてもご提案いただいて、今までは1校1校を電気と冷房の設置という形で一式でしたけれども、例えば電気は電気の工事で発注して、冷房は冷房の工事で発注してというような形で、様々な工事の内容の見直しもできる可能性もあるかと思いますし、特別教室の中で優先順位はどこなんですかというような話の中で、冷房の機器1台分と話の中にあるんですけれども、重要なところから設置するというような考え方も十分にあり得ると思いますので、より少しでも早くというような視点で限られた予算をいかに有効的に使っていくのかというのは、しっかりと持ち帰らせていただいて今後の検討の課題に挙げさせていただけたらというふうに考えております。

▼ 司会進行

ありがとうございます。他にご意見はございますでしょうか。ありがとうございました。それでは次の議題に移りたいと思います。続きまして②学校支援ボランティアを含むボランティア登録の統合に向けた検討についてでございます。市長部局より提案理由等について説明をお願いいたします。

▼ 事務局（市）

資料②に基づき説明

▼ 司会進行

ありがとうございました。②学校支援ボランティアを含むボランティア登録の統合に向けた検討についての説明は以上の通りとなります。それでは皆様のご意見をちょうだいしたいと思います。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。はい、八島市長よろしくお願いします。

▼ 市長

かねてからですね、私は本当に学校に貢献したい、地域に貢献したいという本当に様々な知見を持たれた方がいらっしゃるということは把握しておりました。そういった方たちと、この地域と学校が繋がることについて、大変すばらしく、いい相乗効果があるということを把握している一方で、学校が地域に繋がることのハードルの高さもお伺いしておりました。

その課題の中にはどういった方が、どういった団体が、あま市の地域にいらっしゃるのかが学校としても把握しづらい。そしてボランティアをしたいと思う方も、どういった形で思いを登録してもらって、力を発揮していただくのかというところは、なかなか複数窓口があって、うまくアクセスがスマートにスムーズにいかないというような状況も見受けておりました。そのような中で、中間の間を持つ統一的な情報があると市民にとっても、そして教育機関においても様々な企業、団体においても、大変すばらしいツールになるのではなかろうかというところで、今回こういったボランティアの登録の統合という形の検討が重要ではないかというふうに考えさせていただいております。

こうした皆さんの思いを、よりスムーズに、地域のニーズとつなげていくためにも、今回の取組みを教育委員会も含めて、オールあまで取り組んでいくことは私は大変意義のあることだというふうに考えております。

それぞれの登録制度については、市民活動センター、教育委員会、社会福祉協議会が、協力と連携により、すでに力を発揮していただいてる中で、よりこの組織を超えて横断的な１つの目標に向かって進んでいくという前向きな一方、さらに踏み出していくきっかけになるのではと考えておりますので、本会議で検討していただければと考えております。ただ統合していくには、個人情報の取扱いを含めて、登録や運用ルールを整理して調整していかなければならず、すぐに何か形になるという簡単なものではないというふうにも考えております。

こうした目下課題から、1 歩ずつ丁寧に解決して 1 人でも多くの方が、自らの思いやスキルを様々なシーンや場所で発揮して考えていただき、その思いや気持ちが次の世代、子供たちにも育まれていくことにも繋がっていくというふうに思っておりますので、ご理解とご協力をいただきな

がら、スピード感を持った協議をお願いしたいと考えております。

▼ 司会進行

はい。ありがとうございます。今の市長からの発言に対しまして何かご意見等はございますでしょうか。はい、では委員お願いをいたします。

▼ 委員（教育委員会）

ボランティア登録の統合ということで、お話をお伺いしたら住民サービスのための事務手続きの方法に関することなんですよね。本来の事務局さんの方でしっかり調整していただければいいことあって、あえてこの総合教育会議で協議する必要があるのかという疑問に思いました。ですから教育委員会としても、あま市の場合はコミュニティ・スクールということで家庭、地域、学校を地域の方の手助けをいただきながら、子供たちを育てていくという方向で進めてますので、例えば地域学校協働本部事業、これで地域の人にも協力いただいておるところでありますが、登下校の見守り活動へ協力いただける方も減少しているという話も聞いてます。事務局の方で課題等を整理していこうということであれば、一括して受付の窓口の設置を検討する、協議するということに基本は全く異論はありません。

ただ、学校の行事等に支障が生じないよう、いろいろ注文がついてしまうと思いますが、先生方に新たな負担が生じないように求めていきたいと思います。

それと個人的になるかもしれないですが、自治会の役員を受けていただける人がいない中で、登録情報の活用にあたっては、例えば、学校の年に1、2回の単発的活動なら協力するけども通年での奉仕活動等ができないなど、いろんな事情があるので、登録内容とか活用方法、先ほどの登録者の個人情報の扱いも含めまして詳細に検討していただけたらと思います。

それと、システム導入を前提に検討していくものではないという話がありましたけども、膨大な情報の整理が必要になるわけですが、人を措置するというようなお考えなんですか。

▼ 司会進行

では、企画政策課長、今の委員からの質問に対してお願いします。

▼ 事務局（市）

システムは導入しないというわけではなく、予算が許せば、導入はしていきたいと考えていますけれども、その予算がないうちは今の体制で登録や管理は統合し、マッチング等についても、それぞれの窓口の方で行っていきたいと考えております。

▼ 司会進行

はい、委員お願いします。

▼ 委員（教育委員会）

1ヶ所で受け付けるのではなくて、それぞれで受け付けていただいて、それをどこかで集合させるとか、イメージができないんですけどね。

▼ 司会進行

企画政策課長、よろしいでしょうか、わかる範囲内で。

▼ 事務局（市）

統合の細かい協議につきましては今後、教育委員会と協議していきますけれども、基本的には窓口を一本化するしないにかかわらず、登録された情報を共有するというのがメインだと考えておりますので、登録窓口を一本化するかも含めて事務方で協議をしていきたいと考えております。

▼ 司会進行

よろしいでしょうか。委員お願いします。

▼ 委員（教育委員会）

イメージとして、あま市全体の人材バンクみたいなものも想像したんですけども、それは今後の検討ということですが、例えば私の経験から、福祉の関係でも人は全然いません。それに有効活用できればいいなと思いましたが、登録はそれぞれで情報共有だけということですね。

▼ 事務局（市）

登録されたボランティア台帳というのは一つに集約して、各担当で共有するというイメージでございます。

▼ 司会進行

では最後、委員お願いします。

▼ 委員（教育委員会）

これから検討いただければいいですが、逆に今、それぞれの担当の方の仕事は増えませんか。

▼ 司会進行

では、八島市長お願いします。

▼ 市長

今回、ここまで教育も関わるような内容ですので、まず皆さんのお考えを伺いたいという形で、この大綱的なところをお伝えさしていただいた次第でございます。ただ先ほど例として、弥富市のやとみっけという形でやられているのは、そちらはウェブサイトがあって、登録窓口があって、そこは市民の個人の方が、例えば逆立ちを教えれますというような自分のノウハウを登録いただいて、それを見た教えていただきたい方が、それをお願いしますという形で、依頼をするというような形になりまして、これは市民活動という点において、このやり方は大変参考になると思います。

そこに、例えば福祉であったり教育の関係の様々なボランティアが含まれていくと、そのような形でいくのか、それともももうちょっと少し様々な検討が要るのかというのは、今日の皆様のご意見をいただいた上で、より具体的に検討していく形になると思いますので、できればプラットフォームみたいなものが、今の時代はわかりやすいものがあるとベストではないかなとは考えているところでございます。

▼ 司会進行

はい。ありがとうございます。では他にご意見がございましたらお願いします。では、委員お願いします。

▼ 委員（教育委員会）

気になっているのが、今年度の 12 月 25 日に、こども性暴力防止法が施行されます。教育委員会内でも今までもそうでしたけど、子供に携わる仕事については、犯罪についても慎重に調査をしな

くてはいけなく、ボランティアの内容にもよりますが、一元化するときには1つの視点として慎重に考えていかなくてはいけないと思いますので、教育委員会内だけでの仕事であるならば、教育委員会内で把握管理して練っていくと思うんですが、これが一元化になると、どこまでそれを調査ではないですけどしていくかとか、そういうことも一元化するときの視点としてもらいたいと思います。

▼ 司会進行

はい、ありがとうございます。他にご意見がございましたら挙手にてお願いをいたします。では、委員お願いします。

▼ 委員（教育委員会）

私は市民活動団体畑でもありますので、1点気になったことがありまして、窓口の一本化というのはすごくわかりやすくて、間口が広がるので市民の方もそういった意識が高くなる意味でもいいとはすごく思います。

今、バラバラに登録していることで、こちらに登録することでこれが使えるとか、こっちに登録することでこれが使えるというメリットではないですけど、何かそういったサービス、一元化するとどうなるかが少し気になるので、もし何かが使えなくなったとか、マイナスの点がないようになるといいなと思いました。

▼ 司会進行

はい。ありがとうございます。他にご意見がございましたら挙手にてお願いいたします。では、委員お願いします。

▼ 委員（教育委員会）

例えば、学校ごとにボランティア募集ということをやってみえると思うんですね。読み聞かせだとか、登下校のスクールガード、要するに自分はこれだったら学校に協力できる、プールの監視だとか、授業のお手伝いだとか、学校行事のお手伝いだとか、そういうことで学校のホームページといいますか、そういうものを使って募集してると聞いたことがありますけど、自分の子供が通っている学校に協力したいという保護者の声で、自分はこれならやれるというボランティアに関わりたいという方もいると思います。

一元化しないといけないものなのか、そういうふうに今、バラバラに募集していますけど、それでは都合悪いのか、いい面もあるように思うし、逆にそういうふうだったらなかなか登録できない、もしこうやって一元化するにあたって、今言ったような学校に対してボランティアをしたいというその保護者の声はもうなくなってしまうのか。全部このあま市が集約してボランティアをする人を今のこの図（別紙1）にありますように、企画政策だとか学校教育、生涯学習、社会福祉、こういうようなものを 1 つにまとめるということだと思うんですけど、それをするいい面もあるし、今言ったようにこれはやりたいっていうその人のご希望を聞いていくということも必要ではないかと。何でも登録するとしても、やれることは限られてると思うんですね。いろんなことがやれるわけではないと思いますので。

▼ 司会進行

はい。では、八島市長お願いします。

▼ 市長

はい、ありがとうございます。例えば、ここの学校と個人の方のマッチングをしていて、そこで様々な関係が成熟されているものについては、切り離してという話では基本的にはないものになります。例えば既に、市民活動センターとかあま市教育人材バンクとかに登録いただいてる方は地域、学校限らず、どこでも市内のところで貢献しますよと、こういう分野でというような形の方が登録いただいているものについては、学校で読み聞かせをされている方がいるとして、別にここ以外の学校でも実はもっと読み聞かせがしたいんだということになった場合に、これまでは多分学校から学校にとか、人づてにという形になったと思うんですけれども、そのような思いの方々がいらっしゃるのであれば、こういう人材の登録のバンクがあれば、他の学校がその方に連絡を取って、うちの学校でもお願いしますといったことも新たに可能になってくるのではないかなと考えております。

また可能性としましては、例えば環境問題に大変詳しい企業さんがいらっしゃれば、会社の企業貢献の一環として、こういう技術、そして教育の中身を学校等々、必要な場所でボランティアとして教えることができるという形があれば、学校側がそういう情報を拾って、ぜひうちの学校で環境問題について、お話くださいということが繋がってくると、これを個々にやりとりするのは難しい内容だと思いますので、こういったより広範にこういったことができますという形が、既にボランティア登録で各機関に皆さんいらっしゃっていますので、より繋ぎやすくなるように、教育機関から見ればよりアクセスしやすくなるようになるといった思いで団体管理の窓口の統合をするのがよいのではないかというような考えになります。

▼ 司会進行

はい、よろしいでしょうか。では委員お願いします。

▼ 委員（教育委員会）

これ、集約して１つにまとめたものをどこが管理するのか、企画政策課がそれを取り扱っていくということですか。

▼ 司会進行

それについては企画政策課長、よろしいでしょうか。

▼ 事務局（市）

それについても今後の事務方の協議の中で決めていきたいと考えております。

▼ 司会進行

よろしいでしょうか。

▼ 委員（教育委員会）

もう少し具体的には仕組みといいますか、今の段階では大ざっぱな感じがするので、もう少し具体的にわかりやすく、この内容を揉んでいただいて、出していただけたらなと思います。

▼ 司会進行

はい、ありがとうございます。企画政策課長、まずこれは出発点といった形でよろしいでしょう

かね。

▼ 事務局（市）

はい。

▼ 司会進行

他にご意見ございましたら。はい、委員お願いします。

▼ 委員（教育委員会）

今回の提案というのが、今後、事務局同士で話し合いをしていただいていいですか、ぐらいの話でしたら、それはしていただければいいと思いますけども、例えば先ほど市長さんがおっしゃられた、学校でというと私も朝の見守りとか、農業体験ボランティアをしています。ただそれは、地域の学校であり、住んでいるところの近くだからであって、他の学校まで行ってやるとは全然思ってません。そういう人もたくさんいます。

▼ 司会進行

はい、ありがとうございます。では、委員お願いいたします。

▼ 委員（教育委員会）

少し委員さんの言ってることに近いと思いますけれども、オープンにするところはオープンに広く人材を確保、また学校の中というのは割と何もかもオープンにすればいいということでもないので、先ほど委員さんが言われたように、だんだんＰＴＡ活動が今、ボランティア活動に移行しておりますけれども、その学校愛というか地域の方はそういったものが非常に強く、また、誰でも入ってきてうまく回るということでもないと思うので、その辺りも進めていくうちに学校側や保護者の方の意見もよく聞いていただければと思います。

▼ 司会進行

はい、ありがとうございます。では他にご意見がございましたらお願いをいたします。はい。では委員お願いいたします。

▼ 委員（教育委員会）

これは今伺うような質問かわからないんですが、意見の②で企業さんの社会貢献活動を実施したいという、何か大なり小なりあると思うんですけど、例えば、体育館に冷房を設置したいという企業さんがいたら、それは 1 つのボランティアとしてありがたいと受け取っていいのかわからない。そういったことまでもイメージされてるんですか。

▼ 司会進行

八島市長お願いします。

▼ 市長

まずは、既存の学校さんの何か活動を妨げるとか、何か取り上げるということは大前提ない話でして、プラスアルファで必要であればアクセスできる、求めればあそこに何かがあるというような状況を作るというのが、教育現場の皆様から見たらプラスアルファの選択肢になるようなものができればというのが前提でございます。

例えば、今までなかなかアクセスすることができなかった地元企業さんとか、全国で非常に活躍

されてる企業さんは、まだまだあま市にもいらっしゃいますので、そういった企業さんが、地域に貢献したいという、例えば、学校訪問して、いや、ここは何か直したほうがいいかもしれないねという話があれば、実際のものによる関係というんですかね、そういうことだって生まれてくる可能性はゼロではないかなと思います。

もちろんそれは登録段階で、それがどういう企業さんで、どういう歴史があって、どういう商いをされていてというのは、特に企業にあたっては重々に審査されるような形のものになるとは思いますので、それにプラス、教育現場に学校の方が、この企業だったら呼んでもいいかなと、さらに判断が入るような形には、団体さんも個人さんもありますので、何かそれを作ったから勝手に何か現場におりてくるようなものではないというのが前提になります。

ただ、そういう繋がりが増えれば、新しい今までになかった物による助けが生まれてくる可能性もゼロではないという思いは持っております。

▼ 司会進行

はい、ありがとうございます。では、委員お願いいたします。

▼ 市長

生涯学習課の方で企業さんと何か、連携して行っていませんでしたか。地元企業さんの家庭教育による繋がりも教育委員会は持ってる部分があります。

▼ 司会進行

はい、ありがとうございます。これは生涯学習課からの意見はよろしいですね。

▼ 事務局（教育委員会）

今の家庭教育の関係ですけど、家庭教育推進企業という数年前から企業内での家庭教育を進めていただくため、そういった制度を設けさせていただいて、今 26 社か 27 社登録をいただいて、企業の社員の方の学校での授業参加があれば、積極的に年休取らせていただいて、そういったことと、あとは企業内の家庭教育に関する研修等では、公民館については無料でお貸ししますなどの取り決めで家庭教育推進企業として行ってきました。

▼ 司会進行

はい、では委員お願いします。

▼ 委員（教育委員会）

今、生涯学習課長が言ったのはボランティアではないです。

▼ 司会進行

はい、ありがとうございます。他にご意見ございましたらお願いをいたします。ございませんかね。

ではありがとうございました。以上で議題は終了となりますが、全体を通じまして市長から何か一言ございますでしょうか。

▼ 市長

本日、皆様の多岐にわたる視点からのご意見本当にありがとうございました。やはり皆様のご意見をいただいた上で、しっかり事務的なレベルでスタートしていくというのは、大変有意義な機会

をいただいたと感じておりますので、引き続きこの件につきましても、よろしくお願いしたいと思います。ありがとうございました。
▼ 司会進行 はい、ありがとうございます。では、事務局お願いいたします。
▼ 事務局（市） 本日は長時間にわたりご協議いただき誠にありがとうございました。最後に次第 4 その他といたしまして次回の日程案でございます。今年度第 2 回目の総合教育会議においては令和 9 年 1 月 25 日、月曜日の午後 3 時から実施したく考えております。時期が近づきましたら改めてご案内いたしますが、ご予定いただけますと幸いでございます。よろしくお願いいたします。
▼ 司会進行 はい、ありがとうございます。令和 9 年 1 月 25 日、月曜日の午後 3 時ということで、次回をよろしくお願いいたします。では以上をもちまして閉会をとさせていただきます。お疲れ様でございました。